デバイスのプロビジョニング - Android

- サポートされているデバイス
- 登録トークン
- 個人所有デバイス
- 仕事と個人利用向けの会社所有デバイス
- 仕事専用の会社所有デバイス
- Zero-touch
- Authenticate Using Google Enrollment

サポートされているデバイス
一般に、 Google Play開発者サービスを備えた Android 6以降を実行するデバイスは、 Cerberus Enterprise
と互換性があります。

より良いユーザーエクスペリエンスのために、 Android Enterprise Recommended
の要件を満たすデバイスの使用をお勧めします。

一部の機能は特定の Androidバージョンに限定されているか、 OS
バージョンによって動作が異なる場合があります。特定の機能の詳細については、ドキュメントの

ポリシー セクションを参照してください。

Cerberus Enterpriseは、会社所有デバイスと個人所有デバイスの両方、および 2 つの管理モード（デバイス所有者とプロファイル所有者）をサポートします。

個人所有 デバイスは、 ワークプロファイル
を通じて管理できます。これにより、従業員の仕事用データとアプリを個人用データとアプリから分離し、
セキュリティとプライバシーの両方を向上させる BYOD
ソリューションが可能になります。このオプションは、従業員がすでに所有しているデバイスを、仕事用と
して組織に登録する場合に適しています。

会社所有 デバイスもワークプロファイルを通じて管理できますが、デバイスをより厳密に制御できる
完全管理
オプションを選択することもできます。ワークプロファイルを備えた会社所有デバイスは、従業員に仕事用
の会社デバイスを提供しつつ、個人利用も許可する場合に適しています。完全管理デバイスは、仕事専用で
使用する必要があるデバイスや、キオスクなどの 専用デバイス （ COSU
、企業所有の単一用途）に適しています。

デバイスのプロビジョニングの詳細については、 デバイスプロビジョニングの概要
ページを参照してください。

登録トークン
Cerberus Enterpriseは登録トークンを使用して Android
デバイスの登録（プロビジョニング）プロセスを開始します。選択したトークンによって、登録済みデバイ
スに適用される初期ポリシーが決まり、許可されるプロビジョニングモードが左右されます。

Android登録トークンのタブは、 Android Managementの設定
を完了した後にのみ使用できます。

登録トークンの場所
ダッシュボードで 登録トークン を開きます。アカウントの構成に応じて、ページには複数のタブ（ Android トークン、 Googleサインイン登録、 Appleの手動登録、 Apple Automated Device Enrollment
）が表示される場合があります。

Androidエンタープライズが管理対象 Googleドメイン（ Google Workspace
）によってサポートされている場合、ダッシュボードには Authenticate Using Google
Enrollmentタブも表示されます。有効化と使用方法の詳細については、 Authenticate Using

Google Enrollmentを参照してください。

登録トークンのリスト（ Android）
Android
トークンのタブには、すべてのトークンのテーブルが表示されます。行をクリックすると、トークンの詳細
ページが開きます。

列

ステータス ：有効 （デバイスはこのトークンで登録できます）、 期限切れ
（有効期限が過ぎています）、または 使用済み （すでに使用された 1 回限りのトークン）です。
ポリシー ：トークンに割り当てられたポリシー（ツールチップにポリシー ID が表示されます）。削除されたポリシー は、トークンの作成後にポリシーが削除されたことを意味します。

ユーザー ：このトークンで登録されるデバイスに事前に割り当てられたオプションのユーザー。
削除されたユーザー は、トークンの作成後にユーザーが削除されたことを意味します。
登録数 ：このトークンで登録されたデバイスの数。 1 回限りのトークンでは n / 1 と表示されます。
個人利用 : 許可 / 不許可 / 専用デバイス。
作成日 ：トークンが作成された日時。テーブルには新しいトークンが最初に表示されます。
有効期限 : 有効期限の日時、または なし 。
登録コード ：トークンのコード。 QR
コードを使わずにデバイスを登録するときに入力するものです。

アクション

各行には削除アクション（ 登録トークンを削除
）があります。ライセンスが期限切れの場合、削除は無効になります。
テーブルは複数行の選択をサポートしています。選択モードを有効にして複数のトークンを選択し
、選択したトークンを削除 で削除できます。
更新アクションを使用してリストを再読み込みします。テーブルはページ分割されています（ 1
ページあたり 10/25/50項目）。

新しい登録トークンを作成する
Androidトークンのタブで 新しい登録トークン
をクリックすると、トークン作成ページが開きます。ライセンスが期限切れの場合、作成ボタンは無効にな
ります。

トークンのオプション

1. ポリシー

必須。 このトークンを使用して登録されたすべてのデバイスに自動的に適用されるポリシーです。 Android

ポリシー のいずれかを選択します。まだポリシーがない場合は、先に作成してください。

2. ユーザー

任意。設定すると、新しく登録されたデバイスがこのユーザーに自動的に関連付けられます。

3. 個人利用

この登録トークンでプロビジョニングされたデバイスで個人利用を許可するかどうかを制御します：

許可:
個人所有デバイス（ワークプロファイル）および仕事と個人利用向けの会社所有デバイスに適して
います。
不許可: 仕事専用の会社所有デバイス（完全管理）に適しています。
専用デバイス : キオスク /
専用デバイスに適しています（デバイスは単一のユーザーに関連付けられません）。

4. 許可される使用回数

トークンを複数回使用できるか（ 複数回 ）、 1回のみ使用できるか（ 1回のみ ）を選択します。

5. 有効期限

有効期限の単位（ 分 、時間 、日 、または なし
）を選択します。「なし」以外の場合は、有効期限の値を入力します。許可される範囲は選択した単位によ
って異なり、最大 10,000日まで設定できます。

6. Google認証

デバイス登録時にユーザーが Googleアカウントで認証する必要があるかどうかを制御します：

未指定: エンタープライズレベルの Google認証設定を使用して、登録時にユーザーが Google
で認証する必要があるかどうかが決まります。
任意: ユーザーは登録時の Google認証をスキップできます。
必須: ユーザーは登録を続行するために Googleアカウントで認証する必要があります。

必須 を選択すると、オプションの 必須アカウントのメールアドレス
フィールドが表示されます。設定した場合、ユーザーは登録時にその特定の Google
アカウントで認証する必要があります。

プロビジョニングオプション（ QR コードのみ）

これらの追加オプションは QRコードに埋め込まれ、 QR コードをスキャンして登録する完全管理デバイスのプロビジョニング中に適用されます。ワークプロファイ
ルや、登録 URLまたはトークンを使用して登録されたデバイスには適用されません。

Wi‑Fi構成

これを使用すると、プロビジョニング中にデバイスを Wi‑Fi に自動接続させ、管理アプリをダウンロードして初期化できるようにします。使用可能なフィールドには、
SSID、非表示 SSID、セキュリティ 、および（必要な場合は） パスフレーズ があります。

HTTPプロキシ（ プロキシ ）を構成することもでき、モードに応じて ホスト /ポート 、 PAC URI、プロキシバイパスホスト を設定できます。

その他のオプション

追加オプションには、 ロケール 、タイムゾーン 、暗号化をスキップ があります。

登録トークンの詳細
トークンを開くと、詳細ページにトークンの構成と使用状況が表示されます：

ステータス 、有効期限 、使用状況 、 個人利用 、 許可される使用回数
、および（設定されている場合） Google認証 とオプションの 必須アカウントのメールアドレス
。
トークン : 登録トークンの生の値（コピー可能）。
登録 URL: Google Android Enterpriseの登録 URL（コピー可能で、メールで送信できます）。
QRコード: ページの右側に表示され、完全管理デバイスの登録に使用されます。

プロビジョニングの手順については、 Android登録ガイド（ 個人所有デバイス 、

仕事と個人利用向けの会社所有デバイス 、仕事専用の会社所有デバイス 、Zero-touch ）に従ってください。

個人所有デバイス
従業員が所有するデバイスは、 ワークプロファイルを使用してセットアップできます。ワークプロファイルは、仕事用のアプリとデータのための自己完結型の領域を提供し、個人用のアプリとデータとは分離されます。ほとんどのアプリ、データ、その他の管理ポリシーはワークプロファイルにのみ適用され、従業員の個人用アプリとデータはプライベートなままです。
個人所有デバイスでワークプロファイルをセットアップするには、次のいずれかのプロビジョニング方法を

使用します（ 登録トークン の個人利用 が許可 に設定されていることを確認してください）：

登録トークンのリンク

Androidバージョン

6.0+

エンドユーザーに登録 URL
を提供できます。エンドユーザーがデバイスからリンクを開くと、ワークプロファイルのセットアップ手順
が案内されます。

「設定」 からワークプロファイルを追加

Androidバージョン

6.0+

デバイスでワークプロファイルをセットアップするには、ユーザーはデバイスの 設定
アプリを開き、検索バーを使用して 仕事用プロファイルをセットアップ
オプションを見つけてタップします。

検索で見つからない場合、このオプションの場所は異なることがあります。いくつかの可能性を次に示しま
す：
設定 -> Googleサービスと設定 -> すべてのサービス -> 仕事用プロファイルをセットアップ .
設定 -> Google -> セットアップと復元 -> 仕事用プロファイルをセットアップ .

これらの手順により、デバイスに Android Device Policy をダウンロードするセットアップウィザードが開始されます。次に、ユーザーはワークプロファイルのセッ
トアップを完了するために、 QRコードをスキャンするか登録トークンを手動で入力するよう求められます。

Android Device Policyをダウンロード

Androidバージョン

6.0+

デバイスでワークプロファイルをセットアップするには、ユーザーは Google Playストアから Android Device Policy をダウンロードできます。アプリがインストールされると、ユーザーはワークプロファイルのセットアップを完了するために、 QRコードをスキャンするか登録トークンを手動で入力するよう求められます。

個人所有の iPhoneと iPad

個人の iPhone と iPad (および Mac) は Apple の **User Enrollment** で登録されます。ユーザーはデバイス設定で Managed Apple Account にサインインし、仕事用のアプリ、アカウント、データのみが管理されます。 iPhone と iPad では、ポリシーの App Store アプリと **Cerberus Enterprise** アプリが、そのアカウントのユーザーライセンスでインストールされます。個人デバイスの位置情報は、ポリシーで個人デバイスの位置情報とジオフェンス が有効になっており、ユーザーが許可した場合にのみ収集されます。 **Apple** アカウント駆動型登録 を参照してください。

仕事と個人利用向けの会社所有

デバイス
ワークプロファイル
を使用して会社所有デバイスをセットアップすると、そのデバイスは仕事と個人利用の両方に使用できるようになります。ワークプロファイルを備えた会社所有デバイスでは：ほとんどのアプリ、データ、その他の管理ポリシーはワークプロファイルにのみ適用されます。従業員の個人プロファイルはプライベートなままです。ただし、企業はデバイス全体に適用される特定のポリシーや個人利用ポリシーを適用できます。
企業は ブロックスコープ
を使用して、デバイス全体またはワークプロファイルのみにコンプライアンスアクションを適用で
きます。
デバイスの登録解除とデバイスコマンドは、デバイス全体に適用されます。

ワークプロファイルを備えた会社所有デバイスをセットアップするには、次のいずれかのプロビジョニング

方法を使用します（ 登録トークン の個人利用 が許可 に設定されていることを確認してください）：

QRコード方式

Androidバージョン

8.0+

新しいデバイスまたは工場出荷状態にリセットしたデバイスで、ユーザー（通常は IT管理者）が同じ場所を 6 回タップします。これにより、デバイスに QRコードをスキャンするよう求めるプロンプトが表示されます。

仕事専用の会社所有デバイス
デバイス全体の管理
は、仕事専用の会社所有デバイスに適しています。企業はデバイス上のすべてのアプリを管理でき、 Android Management APIのポリシーとコマンドを全面的に適用できます。
ポリシーによって、デバイスを単一のアプリまたは少数のアプリのみにロックダウンし、専用の目的やユー
スケースに使用することもできます。この完全管理デバイスのサブセットは 専用デバイス と呼ばれます。
会社所有デバイスで完全管理をセットアップするには、次のいずれかのプロビジョニング方法を使用します

（登録トークン の個人利用 が不許可 に設定されていることを確認してください）：

QRコード方式

Androidバージョン

7.0+

新しいデバイスまたは工場出荷状態にリセットしたデバイスで、ユーザー（通常は IT管理者）が同じ場所を 6 回タップします。これにより、デバイスに QRコードをスキャンするよう求めるプロンプトが表示されます。

DPC識別子方式

Androidバージョン

5.1+

QRコードで Android Device Policyを追加できない場合は、ユーザーまたは IT
管理者が次の手順に従って、完全管理デバイスまたは専用デバイスをプロビジョニングできます：

1. 新しいデバイスまたは工場出荷状態にリセットしたデバイスでセットアップウィザードに従います。
2. デバイスをインターネットに接続するための Wi-Fiログイン情報を入力します。
3. サインインを求められたら、 afw#setupを入力します。これにより Android Device Policy がダウンロードされます。
4. QRコードをスキャンするか、登録トークンを手動で入力してデバイスをプロビジョニングします。

Zero-touch

IT管理者は、 IT管理者向けの Zero-touch登録 で説明されている Zero-touch
登録方式を使用して、会社所有デバイスをプロビジョニングできます。デバイスの電源を初めて入れると、
デバイスは IT管理者が定義した設定に自動的に強制されます。

IT管理者は、 認定リセラー から購入したデバイスを事前に構成し、 Cerberus Enterprise ダッシュボードを使用して管理できます。 Zero-touchアカウントをリンクするには、ダッシュボードの
Zero-touchセクションに移動し、指示に従ってください。

Androidバージョン ワークプロファイル 完全管理デバイス 専用デバイス

8.0+ (Pixel 7.1+) ✓ ✓ ✓

Authenticate Using Google Enrollment

Authenticate Using Google Enrollment **Google Authentication for Enrollment** Android Google Workspace

> Google Google Workspace Android

Authenticate Using Google Enrollment Android Management Google Workspace

Google

Google **Google Admin** Cerberus Enterprise

1. **Google Admin**
2.
3. → →
4. Cerberus Enterprise **Android EMM**
5. **EMM**
6. **Authenticate Using Google** Google
7.
8. Cerberus Enterprise **Authenticate Using Google Enrollment**

Google

Google
QR **URL**

- :
  /
- : Google

 workAccountSetupConfig.authenticationType
Google Admin Console **Authenticate Using Google**

Google Play
Authenticate Using Google Enrollment

>

Google Workspace

登録 URLをユーザーと共有します。ユーザーが Android
デバイスでそれを開くと、ワークプロファイルのセットアップと Google
認証の手順が案内されます。
または、ユーザーは Android
の設定から開始してワークプロファイルのセットアップフローを選択し、プロンプトが表示された
ら QRコードをスキャンするか登録トークンを入力することもできます。

会社所有デバイス

QRコード方式 : 新しいデバイスまたは工場出荷状態にリセットしたデバイスで、 QR コードのプロンプトが表示されるまで同じ場所を複数回タップし、ダッシュボードに表示される QR
コードをスキャンします。
DPC識別子方式 （QRスキャンが利用できない場合）：セットアップウィザードに従い、 Wi‑Fi
に接続してから、サインインを求められたら afw#setupを入力し、 QR
コードをスキャンするか登録トークンを入力して続行します。プロンプトが表示されたら、 Google Workspaceアカウントで認証します。

Android
の一般的なプロビジョニング手順（ワークプロファイルと完全管理の違い）については、このマニュアルの
標準的な Android登録ページを参照してください。